

香川高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	特別実験・演習 I	
科目基礎情報							
科目番号	7010			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験			単位の種別と単位数	学修単位: 4		
開設学科	電子情報通信工学専攻（2023年度以前入学者）			対象学年	専1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	指導教員が個別に準備, または, 指定する。						
担当教員	長岡 史郎						
到達目標							
特別研究の実施に必要な問題解決能力, 専門技術の収集を通じ, 技術の変遷を予測できる能力を養う。専門技術の学習を通じて, 学んだ知識を他の分野に応用できる能力, 技術が学習目標社会に与える影響を考察できる能力, 情報機器を活用して文書作成ができる能力を養う。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
情報機器を活用して文書作成ができる。	情報機器を活用して十分に文書作成ができる。			情報機器を活用し, 概ね文書作成ができる。		情報機器を活用して文書作成ができていない。	
学んだ知識を他の分野に応用でき, 技術が社会に与える影響を考察できる。	学んだ知識を他の分野に応用でき, 技術が社会に与える影響を考察できる。			学んだ知識を他の分野に応用することをころみしており, 技術が社会に与える影響について指摘している。		学んだ知識を他の分野に応用できておらず, 技術が社会に与える影響について考察できていない。	
技術の変遷を予測できる。	技術の変遷を予測できる。			技術の変遷についての記述がある。		技術の変遷の予測ができておらず、記述もない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	1. 特別研究のための基礎学習や実験作業を通じ, 問題点を解決できる能力を養う。 2. 特別研究のための専門技術の収集を通じ, 技術の変遷を予測できる能力を養う。 3. 特別研究のための専門技術の学習を通じ, 学んだ知識を他の分野に応用できる能力, 技術が学習目標社会に与える影響を考察できる能力, 情報機器を活用して文書作成ができる能力を養う。						
授業の進め方・方法	特別研究指導教員のもとで, 特別研究を進める上で必要となる基礎技術を習得し, 特別研究の時間軸的位置づけ, 技術的位置づけ, 社会的な位置づけを明らかにする報告書をまとめる。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1. 特別研究指導教員のもと, 専門技術に対する基礎学習や実験作業を行い, その結果を特別研究論文の一部としてまとめ, 報告書とする。報告書は, 前期 1 通, 後期 1 通とし, 所定の書式により A4 版で 10 ページを目安として作成する。(90) 論文, 報告書の作成には以下の点に留意する。 (1) ワープロを用いること。 (2) 図, 表を含めること。 (3) 数式を含めること。 (4) 作図ツール (表計算ソフトの作図機能等) を用いること。 2. 特別研究指導教員のもと, 特別研究の基礎となる専門技術の情報を収集し, 特別研究の基礎となる専門技術の歴史と現状を明らかにしている章を含む報告書を作成する。(45) 3. 特別研究指導教員のもと, 特別研究の基礎となる専門技術を学習し, 特別研究の基礎となる専門技術および, その基礎専門技術と特別研究で用いられる技術の関係を明らかにする内容を含み, 特別研究で用いられる技術がどのように社会に影響を与えるかを考察している章を含む報告書を作成する。(45)			問題点を解決できる。 情報機器を活用して文書作成ができる。 C3:1-4 学んだ知識を他の分野に応用でき, 技術が社会に与える影響を考察できる。 D3:1-4 技術の変遷を予測できる。 D4:1,2	
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					

		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	報告書	取り組み状況	相互評価	合計
総合評価割合	60	30	10	100
基礎的能力	30	15	5	50
専門的能力	30	15	5	50